



研修医日記

作成者：久保田 実怜（2年次）

地域研修で1か月沖縄に行ってきました。病院によっては県内の病院を研修して終了するところもありますが、むつは沖縄に行くことができるので学生の皆さんにはお勧めです。

県外の医療に触れるのも、親元を遠く離れるというのも初めてだったので、貴重な1か月となりました。移動に10時間もかかる距離にいるというだけで最初はホームシックになっていました。

南風原町にある沖縄県立南部医療センター・こども医療センターでは麻酔科を研修し、子どもの手術を多く見ることができました。病院のなかには子どもが喜ぶ装飾がたくさんあり、かわいかったです。チャイルドライフスペシャリストというアメリカでしかとれない資格を持った方がいて、お人形を使って手術の説明をしたり手術室を見学したりと、子どもの心に寄り添ってくれる人がいました。

北大東島という離島でも1週間研修しました。人口約600人の小さな島ですが、サトウキビや土木業などの職に充実していて出稼ぎに来る人も多い島でした。その島の歴史を知るのが面白く、むつのこともよく知りたいなと思いました。3つある漁港から島の人たちがよく釣りをしていて、私も釣りが好きになりました。

島の写真↓ 左：サトウキビを刈り取る機械 右：笑ってるヤギ



今回で研修医日記も終わりです。2年間本当にお世話になりました。むつに研修に来て良かったと思っています。また会う日までお元気で。 2018/02/23

※日記の作成日と当ページへの掲載日は異なる場合があります。